

こんにちは いだかよこです

日本共産党綾部市議員



2015年6月 第17号 綾部市味方町畦田30
 電話・ファックス 0773-43-3255 携帯090-5012-9039
 ブログ「こんにちはいだかよこです」<http://dog.ap.teacup.com/idakayoko/>
 議員団の「こんにちは」もあわせてご覧ください

戦争法案

日本を戦争する国にしてはいけない

安倍政権が今の国会で成立をめざす「平和安全法制」の正体は、日本が攻撃されていなくても、米国が起す戦争に、自衛隊を参戦させ、「海外で戦争する国」につくりかえる「戦争法案」そのものです。憲法9条をおおもとから壊す「戦争法案」は、三つの大問題があります。

1、「戦闘地域」まで行って軍事支援
 (相手から攻撃されれば、武器を使った戦闘になる。)

2、戦乱が続く地域で治安活動
 「停戦合意」があっても戦乱が続く地域で治安活動。

3、無法な侵略戦争にも参戦
 日本はどこからも攻撃されていなくても、アメリカが先制攻撃の戦争をはじめたときにも、集団的自衛権を発動できるようにしようとしている。

どの世論調査でも、「戦争法案」反対が多数です。
 野中広務元官房長官や、古賀誠自民党元幹事長も安倍政権の暴走を批判しています。

暴力で相手を押さえつけても、問題解決にはなりません。そもそも日本が攻撃されていないのに、命がけで参戦するのは筋が通りません。

若者を戦場に行かせることは絶対できません。

Q いまさらですが、憲法9条って何が書いてあるの？

A 憲法9条は、国際紛争の解決手段として、武力による威嚇、武力の行使を永久に放棄し、戦力を持たず、国の交戦権も認められていません。

Q 戦争法案で可能になるのはどれでしょう？

自衛隊の活動が「地球規模」に集団的自衛権の行使戦争する国への支援
 「国連以外の復興支援 PK で治安維持活動 平時から米艦防護 他国への弾薬提供 (A:全部)

衆議院の憲法審査会「立憲主義」をテーマに招致された参考人の憲法学者3氏がそろって、集団的自衛権行使を可能にする戦争法案について「憲法に違反する」との認識を表明しています。

戦争法案についての世論調査

共同通信
 安倍政権が十分法案説明しているとは思わない... 81.4%

テレビ朝日
 「廃案にすべき」、「今の国会にこだわらず、時間をかけて審議するべきだ」... 82%
 8割を超える人が「この国会で戦争法案を通すのはとんでもない」と考えています。

綾部世界連邦運動協会

平成27年度総会

宣言都市1号の綾部会員は現在160名、毎年綾部市民憲章推進協議会の総会と同じ日に開催されています。

鹿子木会長は、世界の平和、環境、人権、資源が守られるためにさまざまな国があつまり、世界連邦機関に委託し、その機能を発揮することで、「平和づくり」、「戦争をおこなさないシステムづくり」ができるのではないかと、日本の世界連邦運動をリードした、湯川秀樹博士は、「世界連邦は、昨日の夢であったが、明日の現実でなければならぬ」と、常々おっしゃっていらしたことも紹介しながら、いよいよ現実のものにしなければと痛切に感じていると、あいさつされました。

今年、10月31日「世界連邦日本大会2015」綾部」が開催される予定です。戦後70年の節目の年に綾部市で開催されることで、もう一度第一号宣言をした市民であること、世界連邦の理念について考える良い機会になるのではないのでしょうか。



世界連邦都市宣言第1号都市パンフ

宣言都市第一号と

大本さん

「世界連邦都市宣言の経緯を学ぼう」

平和プロジェクト・あやべのライプカフェより
 世界連邦の趣旨に賛同した第2代出口澄子教主、自身も『人類愛善新聞』を作り街頭に立ち、また家々を訪問して市民に頒布したことが、日本で一番早く世界連邦都市宣言を行なうきっかけになったということです。



熊丸さんとあそぼう！

田野コミセン

「大丈夫！子育て順調よ！」

新婦人綾部支部の主催で行われた講演に参加しました。

幼児教育専門家で、全国を飛び回る熊丸みつ子さん。毎日必死で子育てしているお母さんの強い味方！、「おもしろマシングントーク」で、おなかの底から笑わせてくれる熊丸さん。声をあげて笑ったのは久しぶりでした。二部では子どもたちとおかあさん、おばあちゃんとピアノを使って体操。企画が急でしたので、ぜひまた来てほしい。次の企画に期待しています。

あやべ作業所

共産党議員団でお邪魔しました。施設長さんに「グループホーム」や作業所の様子についてお話を伺いました。

「障害者の権利条約」が2006年国連で採択され、日本は2014年1月やっと批准(国が条約を確認・同意)しました。条約では、障害があっても、その人らしく地域で暮らすことができるようにすることが求められています。

生まれ育った綾部で、自立した暮らしがしたいという願いは、当たり前のこと。支えておられるご家族も、高齢化や病気など、支えられなくなる日が来た時の大きな不安を抱えておられます。



食堂で昼食の準備が行われていました

グループホームでは、1軒の家

に2〜8人が共同生活を行います。それぞれに個室を持ち、できないことは、キーパー(世話人)と呼ばれる職員が支援されます。綾部市内には、4か所のグループホームがありますが、すべて満室。綾部市外のグループホームに入所の方もいます。しかし、今すぐにでもグループホームへ入所希望をされている方は、あやべ福祉会の調査でも35人あります。

「家族と一緒に暮らせなくなる」ときは、突然やってくることもあります。その時、どうして生活するか大問題です。

そのため、建設できそうな土地や、改修できる建物を紹介してほしいということでした。

アルミ缶圧縮体験中、一瞬で板状に



作業所では、資源回収にも取り組んでおられ、空き缶を圧縮する作業も見せていただきました。

施設長さんは、「グループホームの建設計画を聞き不安に思われる方もあります。みなさんに、グループホームのことを知っていただけるようにお話しをさせていただきます。」と、おっしゃっていました。



「AKN48(綾部 居住 ネット)」で作成されたリーフレットをいただきました。

作業所の製品は、みなさんよくご存じの、ともの家「バームクーヘン」、たからの里「石窯焼きパン」など、あやべ作業所では「醤油」(ポン酢は絶品です)、「クッキー」などを製造されています。製品は、あやバス青野バス停前の「ほっとはあとショップあやべ」(旧フレンドショップ跡)や、観光センターでも一部販売されています。

グループホームの必要性は、綾部市も認めています。議会で、「物心両面で負担が大きいため、軽減の支援を検討したい。」(24年3月議会)の市長答弁もありました。情報の提供をお願いいたします。

綾部消防署

新しくなった消防通信指令システム。消防車、救急車、指令車など、どこに出動して、どこにいるか、GPSを使って、地図上でリアルタイムわかるようになったということです。今までは、現場から無線連絡をうけ、ホワイトボードに書き添えていたそうです。現場からボタンひとつで送られてくる情報は報告する隊員も受ける隊員も確実に、早く処理ができるようになりました。災害時、WEBカメラで現場の画像が送られます。現場の状況が、対策本部、私立病院など共有できるようになりました。大変有意義なことです。限られた人数で毎日「命」と向き合う職員のみなさん、お疲れ様です。お世話になります。



救急車要請の電話をかけ、所内の対応を見せていただきました。



燃やして処理する「ごみの袋

口が結びにくいのでレジ袋の形にしてほしいと要望がありました。9月から、試験的に30リットルのレジ袋型が販売される予定です。ただし袋代が値上げの予定です。値上げではなく、据え置きするよう求めました。

「ごあいさつ

4月に行われましたいっせい地方選挙では、日本共産党は国政でも地方でも多くのご支援をいただき、大きく躍進させていただきました。日本共産党の国議員は2倍以上、京都の議員の5人に一人が共産党の議員になりました。衆参両院共に獲得した議案提出権を活用し、「ブラック企業規制法案」、「政党助成金廃止法案」、「企業・団体献金禁止法案」を提出しました。政府はブラック企業規制へ、5111の事業所の調査にのりだし、82%で是正勧告をおこないました。この4月、ハローワークでブラック企業の新卒求人拒否する法案が可決しました。引き続き掲げた公約実現のため全力で頑張ります。今、安倍政権のすすもつとして、日本を戦争する国に作り替えるものです。絶対許すことはできません。廃案に向かって全力で頑張ります。

綾部市会議員 井田佳代子